

春日井広報大使。保育士シンガーソングライター。市内で保育士を続けながら、全国の商業施設や保育園などでライブ活動を行い、たくさんの子どもたちやママに笑顔を届けている他、講演活動などを通じて保育士に自身の経験を伝えている。春日井市出身。



わたしの 歩んだ道

歌や踊りが大好きな幼少期

外では大人しいタイプで、人前に出たがる子どもではなかったです。しかし、歌や踊ることは好きで、近所のハウジングセンターで開催されるアニメやアイドルのショーをよく見に行き、家では大きな声で歌っていました。

保育士を目指して

近所や親せきの赤ちゃんの世話をする機会が多く、小さい子どもが好きだったことから、中学生の時に保育士の道を目指すことを決め、高校1年生から、ピアノを習い始めました。大学受験の際には、夢をあきらめそうになりましたが、家族やピアノの先生の励ましに勇気づけられ、志望の短期大学に受かることができました。

保育士だからこそできる歌を

大学で仲間とバンドを組み活動するようになりました。就職後にバンドを解散した後も、ソロで活動を続け、金山駅や大曽根駅で路上ライブなどを行っていました。ある時、ショッピングセンターでライブをし

ていたときに、子育てに悩んでいたママが歌を聞いて「元気が出た」と声を掛けてくれました。この時から、「保育士だからこそできる歌を作っていこう」と決めました。

大変でもエールをくれる

みんなに感謝

保育士とシンガーソングライターは、常にくるを使う仕事です。のどに良いと聞いたことは試しています。子どもたちと話す時もあるべく近くで優しく話しかけるのを心掛けています。大変なこともあります。保育園の子どもたちがライブに来てくれたり、先生の歌が好きと言ってくれたり、いつも応援してくれる人たちがいるおかげで力をもらえています。

春日井は親子で

集まる場所がたくさん

春日井は子育てサークルや、親子が集まれる場所が多いイメージで、「安心して子育てできるまち」だなと思います。私は落合公園の納涼まつりの花火が好きで、友達と一緒にしています。落合公園には、桜の咲く時期にもよく散歩をして楽し

んでいます。

ライブができない

今だからできること

新型コロナウイルス感染症の影響で、今はライブを行えません。しかし、今だからこそYouTubeやSNSなどを通して、子どもたちが元気になるような歌を届けたいです。また、春日井広報大使としても、市内外に春日井の魅力を伝えていきたいと思っています。



夢をかなえるために

夢を持つことは、失敗や辛いこともあります。しかし、努力した先に喜びがあるので、まずはチャレンジをしてみることが大事。また、夢をかなえたいときは、言葉にしていくことも大切です。そうすることで、周りの人が応援してくれて、勇気になります。春日井で学んでいる皆さんも、失敗を恐れずにやってみてください。